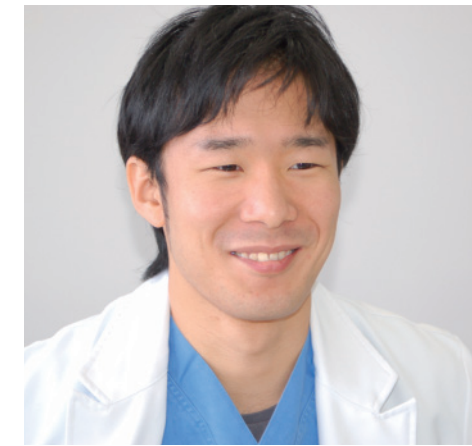


京都府の研修医に聞きました。「病院のいいところ・京都のいいところ」



クローズアップ地域医療

スタッフや患者さんの「人の良さ」を感じる病院です



愛須 佑樹 医師  
綾部市立病院 1年目  
年齢:26歳  
出身:京都府立医科大学  
部活:ラグビー部  
趣味:バイク、一眼レフ  
尊敬する人:坂本龍馬

3 研修医の声  
VOICE OF RESIDENT SP

■研修先病院を選んだ理由について教えてください。

綾部市立病院へは、学生のときに2週間ほど実習に行ったことがあって、一つ上の先輩が活き活きと頑張っていた姿がとても印象に残りました。研修医の数も少ないので、胃や大腸内視鏡などの手技も早くから経験させてもらっていました。初期研修では、「見る」よりも、現場で多くの経験を積みたいと考えていたので、とても魅力的に感じたのです。また、病院の雰囲気もとてもフランクで好感がもてました。どの先生とも顔を合わせることが多いので、普段からとても仲がいいんです。院長が研修医室に突然やってきて、無駄話したりして、小さな病院ならではの良さを感じました。

■院内の人間関係が良さそうですね？

そうですね。患者もスタッフの方も「人が良い」です。コメディカルの人も優しい方ばかりで、親身になってバックアップしてくれます。都市部の病院に行った同級生から「人間関係が悩みだ」と聞くこともありますが、当院ではまったく無縁の悩みです。人間関係が良好なので、研修に集中できる安心感をいつも感じています。

■研修で特に印象に残っているエピソードや経験談はありますか？

麻酔科での研修のときに、上級医の先生が来られるまで、オペ室で患者さんと二

人だけになる場面がありました。ほんの少しの時間でしたが、「今の患者さんの命は自分が預かっている」という責任感が胸にじわじわ広がって、医師の仕事の重みをあらためて感じさせられました。日々の勉強に対していっそう気を引き締めなければ、という気持ちになりましたね。

■愛須先生は昨年4月の「新研修医総合オリエンテーション」に参加されていますね。印象に残った内容などは？

医師と患者のコミュニケーションやチーム医療についてのグループワークなど、現場で役立つスキルの勉強になりました。患者さんへの接遇につながる学びも多く、対人関係の留意点や挨拶の基本など、医学生ときには学べなかったことがばかりで新鮮でした。1月にも研修医の交流会があり、「プレゼン能力」を主題に、他の病院の研修医たちのプレゼン法や意識していること、上達するまでの練習法など、おもしろい話もたくさん聞けました。こうした研修の機会が頻繁にあるのはありがたいです。また、大学で行われている「勉強会」のネット配信など、学びをしっかりとフォローしてくれるシステムがあるのも魅力的ですね。

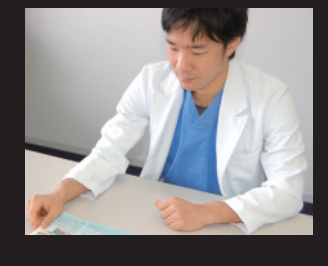
■最後に医学生に向けてメッセージを。

勉強は医師になってからおのずと必要になります。今はクラブでも何でもいいので、学生生活を思い切り楽しんでほしいですね。臨床医になって役立つこともたくさんあると思いますので。

ネホリハホリ

一問一答

- Q.休みの日に遊びに行ける場所は？  
京都市まで出ることが多いです。
- Q.病院内でくつろげる場所は？  
研修医ルーム。
- Q.同期は何人ですか？  
自分含めて5人。
- Q.当直は大変な科でどのくらいの頻度ですか？  
2年間を通して月に5~6回。希望すればさらに多く入れます。上級医1人+研修医1人で担当します。
- Q.病院見学では何を重視しましたか？  
経験を積めるかどうか。
- Q.初期研修終了後の進路は？  
外科(消化器か呼吸器)。
- Q.研修前と研修を始めてからとで、進路希望は変わりましたか？  
呼吸器が新たに候補があがった。
- Q.大学時代の友人と情報交換などをしてしていますか？  
はい。お互いの研修内容はやはり気になります。



医学生・医師向けの京都の医療情報は  
京都に「縁のある医師との絆ネット」  
http://www.pref.kyoto.jp/drkyoto/  
随時更新中!! メール会員も募集中です。

問い合わせ先  
KMCC  
京都府地域医療支援センター  
(Kyoto Medical Career support Center)  
〒602-8570  
京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町(京都府庁内)  
TEL 075-414-4721 FAX 075-414-4752  
E-mail: iryo@pref.kyoto.lg.jp